



キルギス共和国

基本情報

- ・正式名称：キルギス共和国 (Kyrgyz Republic)
- ・首都：ビシュケク
- ・人口：約700万人
- ・公用語：キルギス語、ロシア語
- ・宗教：イスラム教が90%（スンニ派が多数）
- ・通貨：キルギス・ソム (KGS)
- ・日本との時差：3時間
- ・経路：韓国や中国、トルコで乗り継ぎ（1回）



出典：imidas

日本との関係

1. 外交関係

- 1992年：日本と国交樹立
- 2003年：日本大使館開設
- 2004年：在日キルギス大使館開設

2. 経済協力と貿易

- ・ JICAによる支援
道路整備、医療支援、農業技術向上
- ・ 主な貿易品
キルギス→日本：金（鉱業）、はちみつ、果物、羊毛
日本→キルギス：中古車、機械、電化製品

3. 日本語教育と文化交流

- ・ キルギスの国立大学で日本語教育（学習者2000人以上）
- ・ アニメや柔道・剣道など日本文化が人気

4. 人材交流

- ・ 1995年「キルギス日本人材開発センター(KRJC)」を首都ビシュケクに開設
- ・ MIRAIプログラムで留学生を招待し、日本人学生や研究者との知的交流を促進

出典：外務省



キルギス人の特徴と性格

～魚好きは日本、肉好きはキルギスへ～

キルギスには「かつて日本人とキルギス人は同じ民族で、魚好きが日本へ、肉好きがキルギスへ来た」という逸話もあるほど、キルギス人は日本人と顔や体つきがよく似ていると言われています。

- ・ 親日的でフレンドリー：「日本人は誠実」と好印象を持つ人が多い
- ・ ホスピタリティ精神が強い：ゲストを大切にする文化
- ・ 家族や地域のつながりが深い：家族中心の社会
- ・ 遊牧民の影響を受けた自由な気質：独立心が強いが、協調性もある
- ・ 温厚だが芯が強い：穏やかな人が多いが、伝統や誇りを大切にする



インターンシップについて

インターンシップは大学の教育課程の一環として行われ、学生が日本企業で自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験をする制度です。インターンシップが終了した後も、特定技能ビザまたは技人国ビザを取得することにより、長期的な就労が可能となります。

インターンシップを通じて、企業側は将来的に採用する人材を見極め、アプローチする準備ができるほか、学生側は学生のうちから実践的な日本語能力及びビジネスマナーを習得し、日本企業で就労する具体的なイメージを高めることができます。

	報酬なし	報酬あり
受入れできる期間	90日以内	1年を超えない期間
ビザの種類	短期滞在	特定活動（告示9号）
職務内容	大学の専攻分野との関連性が求められる	

アイム・ジャパン提携大学

アイム・ジャパンでは、「キルギス総合国立大学」と「アラバエフ・キルギス国立大学」それぞれの附属日本学院と直接提携し、日本企業でのインターンシップ生の受入れをサポートいたします。

両大学ともに、日本語学習時間は4年間で約300～400時間以上と、日本語能力の高い学生がインターンシップに参加しています。



授業の様子

キルギス総合国立大学（民族大学）



キルギス総合国立大学は民族大学とも呼ばれ、キルギスを代表する最高学府とされています。2024年9月に設立された日本学院には、現在55名の学生が在籍しています。日本学院では観光学科、調理学科、IT学科、地域研究学科が開設されており、さらに社会福祉学科と鉄道学科の新設が予定されています。

アラバエフ・キルギス国立大学



アラバエフ・キルギス国立大学は、約2万人の学生が在籍する大学です。2016年にキルギス初の日本学院が設立され、現在282名の学生が在籍しています。ホテルサービス学科、観光学科、社会福祉学科、調理学科の学生が日本でのインターンシップに積極的に参加しており、実践的なスキルを身につけています。

公益財団法人国際人材育成機構（略称/アイム・ジャパン）

業務推進部 岩津、堀江

03-5645-5628

iwatsu@imm.or.jp